

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 平成28年度業務実績評価書（素案）の修正案と今後の取組等に対する分科会意見

1 平成28年度業務実績評価書（素案）の修正案

素案	修正案	備 考
6 地域連携の推進 評価 B 連携医療機関や連携医を着実に増やし地域連携を強化するとともに、公開CPCや診療科セミナーなどを開催し地域医療の水準の向上に努めたこと、訪問看護師に対する支援を行い、安心して地域で医療を受けられる環境の確保に努めたことは評価できる。	連携医療機関や連携医を着実に増やし地域連携を強化するとともに、公開CPCや診療科セミナーなどを開催し地域医療の水準の向上に努めたこと、訪問看護師に対する支援を行い、安心して地域で医療を受けられる環境の確保に努めたことは評価できる。 <u>今後も、さらなる地域連携の強化に努めてほしい。</u>	高齢者医療・研究分科会の意見を踏まえ、地域連携の強化に係る要望を追記
8 医療安全対策の徹底 評価 B 今後は、院内感染症対策研修会の参加を徹底し、職員の意識向上を図ってほしい。	今後は、院内感染症対策研修会の参加を徹底し、職員の意識向上を図るとともに、 <u>転倒・転落事故防止の取組をさらに進めるなど、医療安全対策の強化に努めてほしい。</u>	高齢者医療・研究分科会の意見を踏まえ、転倒・転落事故防止の取組に係る要望を追記
12 活気ある地域社会を支え、長寿を目指す研究 評価 B 都市型認知症ケアモデルの構築に向け、生活実態調査を実施し、研究を着実に推進したほか、高齢者の社会参加活動等を促進するシステムの社会への普及・還元に努めたことは評価できる。	都市型認知症ケアモデルの構築に向け、生活実態調査を実施し、研究を着実に推進したほか、高齢者の社会参加活動等を促進するシステムの社会への普及・還元に努めたことは評価できる。 <u>引き続き研究を進め、高齢者が安心して生活するための社会環境づくりに貢献してほしい。</u>	高齢者医療・研究分科会の意見を踏まえ、更なる研究の推進に係る要望を追記

2 今後の取組等に対する分科会意見

項 目	意 見
高齢者がん医療	・ 高齢者がん治療のモデルケース作りを目指してほしい。
地域連携の推進	・ I Tを用いて、在宅医療を行っている医師を中心にネットワークを築くことで、今後普及する高齢者の支え治す医療のモデル事業になるのではないかな。
研究成果・知的財産の活用	・ より積極的なプレスリリースなど広報活動を進めてほしい。
人材育成	・ 医師の過労対策など働き方改革の道筋作りを目指してほしい。
地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化	・ より積極的な職員提案が出されるよう、モチベーション向上や目標設定をしてほしい
適切なセンター運営を行うための体制の強化	・ 将来的には、内部監査に専属人材を配置し、第一線の業務運営を別の視点からチェックする機能の強化が好ましい。
コスト管理の体制強化	・ 病院・研究所という性質から、単純なコストカットではなく、提供サービスの質への配慮、在庫不足による医療提供への支障（特に災害時など）の回避等も含めたバランスのとれたコスト管理のさらなる高度化に期待する。
全体	・ 病院及び研究所で実施されていることは都民にとっても有意義なものであり、一般都民の認知度が向上するようなさらなる取組があってもよいのではないかな。